

## 6月定例会概要

平成24年6月定例会は、6月4日から6月21日までの18日間の会期で行われました。

今定例会では、平成24年度一般会計補正予算(総額7241万円の増額)、特別会計補正予算(2161万円の増額)の各予算案3件、条例改正案4件、専決処分事項の承認などの事件案17件の計24議案が市長から提出されました。6月11日、12日、13日の一般質問には14名の議員が登壇し、14日、15日には総務文教・産業建設・福祉環境常任委員会に付託された議案について審議しました。最終日21日には、提出された議案について、すべて原案のとおり可決されました。

決・承認されました。陳情2件の審査結果はいずれも採択としました。意見書2件については、全員一致で可決しました。

## 委員会審査

6月14日、15日には、各常任委員会において審査が行われました。

## 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会に付託された議案は、平成24年度飯山市一般会計補正予算(第3号)の関係部

## 福祉環境常任委員会

心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書』提出に関する陳情』については、慎重に審査した結果、全員一致で採択すべきものと決しました。

## 産業建設常任委員会

産業建設常任委員会に付託された議案は、平成24年度飯山市一般会計補正予算(第3号)の関係部分1件、市道路線の認定、変更について、平成23年度飯山市一般会計補正予算(第9号)の専決処分事項の承認を求めることについての関係部分などの事件案10件の合計11議案でした。

審査結果は、すべて全員一致で原案のとおり可決または承認すべきものと決しました。

陳情第3号「T P P (環太平洋連携協定)への参加判断に関する陳情」については、全員一致で採択すべきものと決しました。

## 一般質問

6月11日、12日、13日には、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

※以下、内容は要約して掲載させていただきます。

## 叙勲伝達

昭和37年12月に飯山市議会議員に初当選後、平成6年12月までの間、通算4期16年の永きにわたり在職された小湊清彦氏が、このたび叙勲を受け、4月29日に旭日双光章を受章されました。5月8日に長野県庁において、知事から伝達が行われました。



阿部知事から伝達を受ける小湊清彦氏

## 消費税の増税ゆるさず 社会保障の充実を



小林喜美治議員

### ◇消費税の増税について

【質問】政府・与党は消費税増税を今国会中に強行し国民に増税を押しつけようとしている。国民全体が耐えがたい負担増になり、暮らしも経済も落ち込むことは明らかである。国民の所得も消費も落ち込んでいいる時、消費税増税は市民生活に大きな打撃となる。国民の多くが反対している今回の増税計画について市長の見解を。

【答弁】肝心の社会保障の中身がどのようになるのか、全体像が示されていないのが問題であり、市民にとって大きな負担となるので、中身についてのきちんとした説明が必要と思う。

### ◇歩道の安全対策について

【質問】全国的に登下校中の交通事故が問題となっている。県のまとめでも昨年県内で、歩いて登下校中など交通事故にあつた小中学生は88人であると言われている。長野県の事例は少ない数とは言えないものである。飯山市内の実情はどうか。何らかの安全対策を検討することは急務であると思う。



秋津地区内の朝の登校風景

また、秋津地区内の通学路の歩道についても長年の要望事項であるので、再点検と今後の整備計画を急ぐべきと思うが見解を。

【答弁】当市においても安全対策は重要と考えている。秋津地区内における旧田中鉄工所前は今年測量を行い、工事に向けた準備をしている。また、歩道の安全対策として、歩くところと車との区別をつける方法について、早急に事故の未然防止に取り組むなど、ハード面ソフト面の対策を行う。

# EMBCと環境保全型農業について



石田克男議員

【質問】下水道統合事業に伴い常盤第一農業集落排水処理施設が廃止になる。常盤第一で使われているEMBCは汚泥や臭気が出ないなど多くのメリットがある。その処理水を利用してほしいとの要望があるが市長の考えは。

【答弁】EMBCを他の施設に導入するかどうかは、処理する意味、有利になる条件、また、経営的なメリットなど、総合的に検討しながら決めていきたいと考えている。

◇補助金交付金等窓口一本化と取り組みについて

【質問】国県市にそれぞれ多くの補助金交付金等がある。これらを使いやすくするため、市役所内で窓口を一本化できないか。

【答弁】補助金交付金の申請については複雑でわかりにくいところがある。窓口一本化はなかなか難しい面があるが、わからないところがあつたら企画財政課に相談してほしい。

◇城北中学校の自転車通学路について

【質問】市内施設の草対策について



危ない通学路

【質問】市営の体育施設や公園等の草刈の費用は年間どのくらいか。

【答弁】430万円程度となる。

◇市内施設の草対策について

【質問】市営の体育施設や公園等の草刈の費用は年間どのくらいか。

◇人・農地プランについて

【質問】本年度から政府は農地集積への支援や新規就農者支援を行うが、当市の状況を伺いたい。

【答弁】農地集積協力金は具体的に政府方針が決まっていない。農業後継者不足なので、地区再生センターの中で意見をもらい支援体制を取っていきたい。新規就農希望者は秋津、木島、太田各1名、常盤2名、岡山6名、合計11名。

◇アスパラ、キノコについて

【質問】アスパラは5月末で前年比57〜58%の出荷量。キノコもナメコ以外価格低迷と資材費の高騰で栽培者数が減少している。対応は。

【答弁】アスパラ雨よけに10a当り5万円を助成する。茎枯病抵抗菌の事はJAと研究して行く。キノコの節電対策としてLED導入が考えられる。関係者と相談したい。

◇放射性物質測定経費について

【質問】東電の測定経費支弁の報道がされたが詳細は。キノコ農家の原材料測定費を行政で東電へ請求できないか。

【答弁】東電から下水道測定経費

# 農業問題について



水野晴光議員

77万円の支弁があった。水道水の測定経費を請求中。その他測定器や委託料等300万円ほど順次請求する。キノコ農家の測定費は今のところ代理請求を考えていない。

◇千曲川防災について

【質問】上流での土砂搬出や築堤、浅川排水ポンプの大幅増強が進んでいる。当地安全のため、立木伐採と桑名川・下境築堤及び大関橋上流堤外地土砂除去を望む。

【答弁】立木伐採は手続きが必要。河川事務所と連携して対応したい。堤外地土砂搬出は地元の方々と話し合いを進めて決めたい。



林立する堤外地の雑木

# 防災会議委員に女性・障がい者 市民の代表の登用を



小林初子議員

◇防災対策について

【質問】昨年の大震災で多くの課題が浮き彫りになった。特に子育て・介護・妊娠中等多様な生活環境にある女性は、男性以上に困難な状況に置かれるため、避難所運営等についてはしっかり検討していく必要があると考える。地域防災計画の見直しにあたり防災会議委員に充て職でない女性の代表や障がい者・市民の代表を登用すべきではないかと考えるが。

【答弁】防災の中で重要な対象者であるので女性・障がい者・市民

も含めて実施していきたい。

【質問】自主防災訓練マニュアルを作成される考えはあるか。

【答弁】作成したいと考えている。

◇発達障がい者支援について

【質問】発達障がいへの理解を深める啓発活動は行政だけでなく民間の力も活用すればもっと進むのではないかと。成人の発達障がいに関する市の相談窓口とその対応は。

【答弁】他の障がいも含めて講演会や研修会を考えていきたい。民間の力・住民レベルで理解が広がる事は大切。相談窓口は保健福祉課で専門的な事は保健師・看護師が対応しながら県の発達障がい支援センター等につなげていく。高水福祉会とも連携して早期発見・地域の生活支援に取り組んでいきたい。

◇肺炎球菌ワクチンの公費助成について

【質問】肺炎の予防に有効とされる成人用の肺炎球菌ワクチン接種を公費助成する自治体が今年4月現在720の自治体にのぼっているが、当市で導入される考えは。

【答弁】県の動向を見て検討。効果はあるのでPRに努めていく。



2集落合同で自主防災訓練 AED 指導訓練も行いました

# 安心安全な地域づくりを!!



渡邊吉晴議員

【質問】県道97号線の分道地区地すべり災害工事について、この道路は単なる斑尾高原への観光道路だけではなく、信濃町の古海集落、及びタングラムのペンション等の住民の生活道路としても大変重要路線となつているため、1日も早い工事を。県へ強い要望を伝えるが。

【答弁】市としても県道97号線は重要路線であると十分承知しており、1日も早い工事を強く要望する。

【質問】この道路に関連している、赤線道路を緊急道路として普通車が通行できるように整備していた



早急な災害復旧が必要

だいたことは、大変ありがたく感謝申し上げるが、一カ所13mほどが急坂でクラックカーブとなつており、この区間の改良も安心安全に進めるようにと考えるがいかかか。

【答弁】県と話し合つて進めたい。

【質問】新幹線駅と立体駐車場の2階部分との通路がほしいとの住民の声を聞いたが、行政はどのように考え工事を進めているのか。また、北信広域の駅として工事を進めているが、駅舎工事が進む中で考えも変わってきているのではと思うが、広域の皆さんと話し合つて進めるべきと考えるが。

【答弁】駅西駐車場等は飯山市で工事を。立体駐車場については、お客様の利便性を考え、雨や雪に当たらないように考え、2階へは階段の他エレベーターとエスカレーターを西口に取り付ける。

【質問】広域観光とその後の取り組みは。

【答弁】各市町村の名所や温泉等々の情報発信などの取り組みを進めていく。また、7月下旬には9市町村の首長会議を予定している。

# 農業対策について



望月弘幸議員

【質問】24年度重点対策で、農業振興、農業再生に力を入れると表明しているが、計画の進行状況は。

【答弁】飯山市の農業再構築を、全地区で進めて力を入れていく。

◇広域行政について  
【質問】信越9市町村広域観光連携会議がスタートし、広域観光推進室を設置し取り組んでいるが、今後どの様に進めるのか。

【答弁】幹事会を設置して進めていく。首長会を7月に開催し、広域的に観光マップを作り進めていく。

【質問】防災協定によりいくつかの市と連携を進めているが、防災面のみでなく観光面等、経済面での連携も図っていくのが良いのでは。姉妹都市交流を、一層機能するように取り組む必要があるのでは。

【答弁】災害ばかりでなく、日常的に連携できる交流を深めていく。

【質問】定住自立圏形式はこの地域にどのようなメリットがあるのか。また、市民に説明をしっかりとしていく事が必要であると思うが、広域行政との連携はどうか。

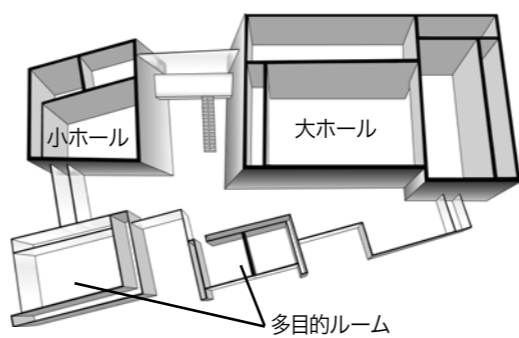
【答弁】市民の理解が必要。今後

話し合いをして連携を進めていく。

◇(仮)飯山ぶらざ建設について

【質問】プロポーザル方式で6社から1社を選定した。長岡市で(株)限研吾建築都市設計事務所が設計した庁舎とホール複合施設がオープンし、市長が視察しているが感想はどうか。今後市民に設計内容を報告していくのか。

【答弁】明るいという印象であり、雪対策もできたと聞いている。空間の対応もできていると実感した。今後内部設計に入っていくので、市民の皆さんにも伝えていく。



(仮)飯山ぶらざ配置イメージ図

# 総合計画の策定について



渋川芳三議員

【質問】総合計画の策定スケジュールはどうか。

【答弁】来月には市民策定委員会を組織し立案作業を進め、その後審議会を経て今年度中に策定する。

【質問】策定する基本構想の議会の議決はどのように考えているか。

【答弁】今後議会と相談して決めたい。

◇自治基本条例について

【質問】自治基本条例を作る考えはあるか。

【答弁】勉強をしたうえで、どう



秋津農村公園から飯山市南部を望む

するかを検討したい。

【質問】条例策定を前向きに考える必要があると思うがどうか。

【答弁】必ずしも作らなければならないと思わない。目的をしっかりと考えて取り組む。

◇新駅設置の可能性検討について

【質問】新駅設置の見通しを庁内でどのように検討したのか。

【答弁】設置のハードルは高いと思う。駅の設置が出来るかの可能性の調査と考えている。

【質問】地元要望はあったのか。

【答弁】地元要望は無い。新幹線開業の今回が新駅設置のラストチャンス。

◇災害への備えについて

【質問】災害時応援協定の相手方をどのように選んできたのか。

【答弁】半日程度で行き来が出来、偏らない方向、普段の交流をし易い人口規模等を考慮して選んだ。

【質問】あといくつ位の自治体との協定締結を考えているのか。

【答弁】あと1〜2か所。首都圏の自治体であれば、3市と異なった交流が可能と考えている。

# 安心安全な地域を



西條豊致議員

【質問】柏崎刈羽原発に対し市長の基本的な考え方を伺いたい。

【答弁】将来的には自然エネルギーにして行くべきだが当面全発電量の3割を原発が占めており、立地地域の合意が得られるなら再開を

と考える。当市も小水力発電の設置の研究を進めている。

【質問】飯山市水道事業で本管の石綿管の使用の現状と改良予定、及び健康の心配がないか。また、水道料金が県下で上位になっているが市民の理解は。

【答弁】石綿管は順次更新している。延長で1566mが残っており、木島地区は26年度山岸新水源の送水管改良工事に併せ更新。飯山及び外様地区は老朽管更新を踏まえ約5年で解消予定。健康に心配ない。料金については市民の要望により千曲川表流水から脱却を計り、安全

でおいしい水になった平成13年度から市民の理解を得、現在の料金。【質問】戸狩狭窄部の拡幅が24年度から実施されるが飯山地区での水位はどの位減少するか。

【答弁】立ヶ花の掘削で毎秒

6500リットル、流下時川面で90リットル、柏尾6リットル、中央橋地点で20リットルの減水があり、雑木の伐採は計画的に進める。避難場所は区長会を通し変更し、勧告等は市報で知らせる。



桑名川築堤工事現地視察

【質問】飯山堆肥センターの県の対応状況と事業再開許可申請は。

【答弁】4月18日産業廃棄物処分業の変更許可申請が提出受理された。書類の不備や臭気指数、品質基準等の未提出もあり、地元が納得する内容で許可条件等が設定される様今後強く県に申請して行く。

# 地区農業再生センターの早期立ち上げを！



佐藤正夫議員

【質問】新しい農業政策で「人・農地プラン」に、担い手や青年就農者等の事を盛り込む必要があるが、急ぐが、同時に各地区の農業の将来ビジョンをどう作って行くかの検討が最も大切。それにはリーダーが必要であり、それを支える事務局体制や市の職員の姿勢も大事だ。

【答弁】農業再生会議で地域農業の将来を徹底的に話し合っしてほしい。事務局は農業センターとの統合で0.5人増える。市も農林課の体制を替え、農業再生に取り組んでいる。職員はプランを作るだけでなく現地で取り組み、必要な制度にはプランの活用が大事。再生センター立ち上げは、今は2地区のみ。早めに立ち上げ検討を始めてほしい。

【質問】青年就農者の希望が多く予算が半分程度しかなく、要件をより厳しくすると聞かすが対応は。

【答弁】青年就農の芽を摘まないため市長会を通じ国へ要望する。市も何らかの支援が必要と考える。県は飯山市を重点地区に選定した。希望者は救って行く必要がある。

【質問】飯山城址の整備は短期、中



飯山城址公園整備イメージ

# 新幹線開業に向けた 取組みの強化を



高山恒夫議員

## ◇新幹線関連について

【質問】開業に向け市独自の行動計画をつくるべきではないか。

【答弁】市民意識の高揚に向け、新幹線まちづくり市民協議会と連携し各種イベント開催等について体系的な行動計画を示したい。

## ◇雪対策について

【質問】安心安全な雪対策の徹底を。

【答弁】早期の庁内組織体制の確立と迅速な対応を徹底する。雪害救助員制度の運用は家族の支え合いも含め関係組織と協議したい。

## ◇まちづくりと福祉視点について

【質問】福祉のまちづくり理念とまちなか歩道整備の整合はどうか。

【答弁】歩道の視覚障害者誘導用点字ブロックの設置は、県福祉のまちづくり条例等に基づき病院や公共機関等への連続的な誘導を計画している。まちなか回遊ルートについては再点検し整備したい。

## ◇文化財の維持について

【質問】文化財維持に関わる市補助金交付要綱は見直すべきではないか。

【答弁】市内の歴史的文化遗产は

観光資源としても市の魅力を支える重要な部分である。実情に合った見直しも必要と考える。

## ◇菜の花を市の花に

【質問】豪雪の中、関係者の努力によって連休の開花が実現した。飯山を代表する「菜の花」を「雪つばき」とともに市の花に指定しはどうか。

【答弁】菜の花まつりは来年30回目を迎える。日本の原風景としての菜の花景観を今後とも地元と連携し大事にしていきたい。市制施行60周年、新幹線開業等も控え、節目で考えたい。



菜種収穫後の一番起こし作業がはじまる。来年の菜の花まつりに向けた準備作業が続く。

# 政治姿勢について



竹井政志議員

## ◇「再稼働すべき」と明言。その理由

【質問】野田首相は大飯原発について「再稼働すべき」と明言。その理由は「国民生活を守る」ためという。飯山市民の生命と財産を守る立場にある市長の見解を。また、大阪府で可決された「大阪維新の会」の二つの条例。教育への政治介入に道を開く「教育基本条例」と公務員を「全体の奉仕者」から首長の下僕にする「職員基本条例」といわれているもの。市長としての見解は。

## ◇大阪維新の会

【答弁】稼働しない方が良いが、地元の自治体が了承すればやむを得ない。「大阪維新の会」については過去の歴史的教訓を忘れてはならない。

## ◇中学武道必修化について

【質問】今年度から中学武道必修化が開始。特に柔道は事故につながる危険性が高いと専門家から指摘されている。頭を強打しなくとも脳内出血で死亡・障害が生じる「加速障害」が報道されている。事故防止の講習会などの対策は。

【答弁】今までの研修に加え、医学的内容も含めた研修も考えていきたい。



事故防止をしっかりと!!

## ◇2年目の住宅リフォーム助成制度について

【質問】この制度を日本共産党市議団が提案してから2回目。利用者・請負業者の声として「自分の生まれ育った家を修理して住めるようになった」「仕事がない中で今年4件請け負った」など評価されている。今年度の利用状況と経済効果の予測は。

【答弁】1500万円の予算で150件採択。総事業費約2億円。抽選制で不公平感が少なくなった。

# 国民健康保険税について



渡辺美智子議員

【質問】国民健康保険は基本的には平等に保険給付が保障されるもので、保険証の未交付や資格証明書発行は廃止されるべき。高いと言われている国民健康保険税。所得に対する平均の保険税負担は、全国平均で9.9%、長野県10.5%、飯山市11.5%と高い。法定減額のほかに市独自で保護費に匹敵する減免制度が取れないか。また、滞納者に特別の事情がある場合は減免される事になっているがどんな時か。

【答弁】市独自のものは考えていない。3月末で法定減額を受けている世帯は1763世帯で50%になる。(法定減額とは所得に応じて均等、平等割の7割、5割、2割の減額)所得が著しく減ったり災害にあった時、市長が認めた場合一定の基準内で対応している。低所得者で厳しい場合はしっかり考慮する。

## ◇自然エネルギーについて

【質問】刈羽原発再稼働について市長は地元への理解が取れば再開ありとの事。その姿勢が自然エネルギー転換を遅らせていないか。飯山市のように中山間地は小水力発電

の可能性が高いと聞いている。一刻も早く取り組んでほしい。

【答弁】発電可能な小水力発電の豪雪地帯でも可能な太陽光発電の検討を県と連携して開発に取り組んでいく。



木島平馬曲温泉の水力発電

## ◇磁気誘導ループについて

【質問】会議室、市民の窓口、脳いきき教室でも導入している磁気ループの有効な活用を。(仮)飯山ぷらざの会議室に設置できないか。

【答弁】コストがかからず音がクリアで音域が広い。引き続き活用する。(仮)飯山ぷらざにも導入したい。

# 「飯山らしさ」について



上松永林議員

【質問】市長には、飯山らしいまちづくりなど、飯山らしいという発言が多いが、飯山らしさとは何か。

【答弁】飯山の歴史、自然、文化を反映したものであり、具体的に、四季のある自然、ふるさとの原風景、雪国、寺の町などである。

## ◇JR飯山線新駅設置について

【質問】飯山駅と蓮駅の間に新駅をという話は、JRと合意しているのか。補正予算案に計上した調査費100万円の内容は何か。また、新聞報道には市議会の提案もあったとあるが、認識違いではないのか。

【答弁】新駅設置が可能か調査したい。JRのシステム改修費は新幹線開業と同時に安いので、補正予算で、位置の検討、乗降客数等の技術的、専門的な調査を行う。3月定例会で、新駅設置について要望してはという一般質問があった。前から庁内では設置の可能性について議論はしていたが、一般質問が一つのきっかけではあった。

## ◇飯山まち並修景整備モデル事業補助金交付制度について

【質問】市民に説明不足で、修景



まち並整備（個人住宅等の修景）のイメージ

# 回遊性にとって重要な 飯山を語る物語が必要!



山崎一郎議員

【質問】江戸時代後期の飯山城址に復元し、そこを公園化するだけでは回遊したくなるかが疑問であるとの指摘がある。訪ねたくなるよう資料の収集と展示が必要と思うが計画は。

【答弁】第一段階として、城山を史跡本来の形に整備し、次の段階で資料の展示できる施設を市民会館跡地等に必要と考えている。

【質問】飯山には人形館だけでなく、正受庵など貴重な文化財や宝物がたくさんあるが、線で結ばれていないため回遊性になっていないとの指摘がある。飯山のまちづくりにとって大切なことは、飯山をアピールする物語であると思うが。

【答弁】ご指摘の通りで、飯山には歴史があるので飯山を語るストーリーが必要だ。新幹線開業に向け関係者で検討したい。

【質問】文化学園が北竜湖に山荘やスキー場をつくり、学生や都会に飯山をPRされて今年50年になる。飯山市表彰式に顕彰すべきと提言するが。

【答弁】奥信濃飯山を内外に知らしめてくださった同学園の大きなご功績に感謝し、大切な節目でするので顕彰申し上げたいと思う。

【質問】身体不自由の方々の自立支援のための県の補助事業が、飯山では門戸を狭め利用しにくい現状だ。改善を要望するが。

【答弁】県の制度と乖離している部分について、今後要項を見直し、利用し易く改善していきたい。



飯山城址にかかわり深い正受庵



北淡震災記念公園「野島断層保存館」

この野島断層は阪神・淡路大震災の震源となった活断層で、その一部が140年にわたり保存展示されておりました。

また、神戸市中央区の阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」は、阪神・淡路大震災の貴重な教訓を世界共有の財産として、後世に継承し、国内外の地震災害による被害軽減に貢献すること、そして生命の尊厳を大切さを世界に発信することを目的に設立され「17シアター」「震災直後のまち」「大震災ホール」など阪神大震災の発生から復興までを映像、資料を使い生々しく再現されておりました。

今回の視察を通じて、自然の力の大きさ、災害の発生は必ずあり、これを食い止める事は不可能だが、発生を想定し万全な準備をしておくことの大切さを強く感じさせられました。地震災害ばかりでなく各種災害に対しての対応をしっかりと



淡路市防災センター

## 陳情審査 意見書

### ◆陳情第3号

TPP（環太平洋連携協定）への参加判断に関する陳情

《採 択》

陳情者

北信州みゆき農業協同組合  
代表理事組合長 佐藤重雄

J A 北信州みゆき農政対策  
会議 会長 佐藤重雄

### ◆陳情第4号

「住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書」提出に関する陳情

《採 択》

陳情者

長野県国家公務員労働組合  
共闘会議 議長 戸澤一雄

### ◆意見書第2号

TPP（環太平洋連携協定）への参加判断に関する意見書

《可 決》

◆意見書第3号  
国民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書  
《可 決》

※意見書については、関係機関へ送付しました。

## 管外視察報告

先ごろ行なった各常任委員会の管外視察について報告します。

## 総務文教 常任委員会

委員長 西條 豊致  
平成24年5月8日～10日  
兵庫県淡路市・洲本市  
徳島県鳴門市

防災対策の目的の一つとして兵庫県淡路市・洲本市、徳島県鳴門市の行政視察を行いました。各市とも議長・副議長・議会事務局及び担当課の各位より懇切丁寧な説明を受け実のある意見

の必要性を実感しました。徳島県鳴門市では、議会改革を中心とした視察で、当市議会でも12月議会から取り組もうとしている予算決算常任委員会と各委員会構成についての内容で、2つの常任委員会と全議員で構成される予算決算常任委員会の設置と一般質問の方法についての視察でした。

兵庫県洲本市では、菜の花エコプロジェクトについての視察で、休耕田などを利用した菜の花（菜種）の栽培状況・菜種油・搾油施設の稼働状況・使用済みの食用油によるBDF精製と利用方法・家庭や公共施設などから出る廃食油の回収方法を視察しました。



ペットボトルによる廃油回収

## 産業建設 常任委員会

委員長 水野 晴光  
平成24年5月8日～10日  
高知県南国市・安芸市・香美市

◎高知県南国市  
「農家レストランまほろば畑の取り組みについて」

南国市は、温暖な気候によって育てられた施設園芸野菜の消費拡大等を目的として、道の駅「南国風良里」のカフェレスト風良里の定休日（火曜日）に地域食材を使い、郷土料理を提供している。5つの女性グループが交代で営業し、常設メニュー（ナスのたたき、ししとう料理）の



農家レストラン まほろば畑

安芸市は、基幹産業が農業であり、後継者不足と独身男女が多く、昭和61年度に農業後継者対策協議会を発足させ、さまざまな取り組みを行なってきました。

男女交流イベントは、男性と女性の出会いの機会を設けるためにプチ農業体験、野菜の植付け、収穫体験、飲食店を借り切り料理教室等を一年に複数回行い、毎回複数のカップルが誕生している。市内男性が気恥ずかしさから減少傾向なので、今後市外での企画を予定しているとのことでした。

結婚相談員制度は、市内に4名の相談員を配置し、希望者から申し込んでもらったり、相談員がこれと思う人と見合いをしてもらう活動をしています。これまで数組の話がまとまったとのことでした。

当市においても、農業後継者対策として婚活イベントを活用していくことも必要ではないかと考えます。

### ◎高知県安芸市 「農業後継者対策協議会の取り組みについて」

他、特色ある料理を作っています。営業時間は午前10時50分から午後2時まで。50分間の入れ替え制を3回行い、バイキング方式を採用していました。視察当日は、合計約180人の来店者があり、賑わいを見せていました。調理、加工技術の高位平準化、接客やおもてなし等の研修など、課題はありますが、一番の悩みがグループ員の高齢化であり、新グループ員の確保に苦勞している印象を受けました。

### ◎高知県香美市 「有害鳥獣被害対策事業の推進について」

香美市は、山林が多く、鹿や猪、猿による被害が増加してきており、平成24年度捕獲計画では、猪、猿の捕獲報償費を増額、被害防止対策として、市役所内で狩猟免許所有者を含む4名で構成している鳥獣被害対策実施隊により被害防止対策に関する知識等の普及、啓発を行っています。また、鳥獣肉処理施設を作り、平成23年度は鹿の搬入は、20頭前後でした。

捕獲従事者の高齢化も深刻であり、若手の捕獲者の確保も狩猟免許取得補助金を設けたりと今後は狩猟後継者の育成対策を講じる等事業を進めていくとのことでした。

## 福祉環境 常任委員会

委員長 小林 初子  
平成24年5月9日～11日  
福岡県大牟田市・うきは市

福祉環境常任委員会では、認知症支援の先進地である福岡県

されているコーディネーター養成研修は、専門職の皆さんが利用者へのケア向上にとどまる事なく、地域全体に目を向けて人やまちづくりの推進者となっていくための重要な役割を担っています。

大牟田市で自治体と事業者の協働基盤づくりができています。行政と事業者が肩を並べて話ができる関係はすばらしいし見習っていきたくです。財政が厳しければ知恵を出し合い人を育てる努力が必要ではないかと思えます。

### ◎福岡県うきは市

「地域の資源を活かした交流・連携のまちづくりについて」

うきは市は、福岡県の南東部に位置し、南に耳納連山を抱き、北には筑後川が流れ、また、名水百選、水源の森百選、棚田百選、疎水百選と、4つの全国百選を有するとても自然に恵まれた地域です。

その中でも特に、約300枚から成る「つづら棚田」には日本の美しい原風景があり、深紅の彼岸花が咲く季節はさらにその魅力を高めてくれます。うきは市では棚田など地域の資源を



美しい石積み「つづら棚田」

活用したまちづくりに積極的に取り組んでいます。

毎年約3万人もの人々が足を運ぶ場所となっているつづら棚田であります。約400年前につくられたと言われ、現在にいたるつづら棚田の名を現在のよいうに広めたきっかけは、地元のみちにおこしグループにあったことでした。地域の素晴らしさや美しさを再発見し、もう一度自分たちが住んでいる農村の良さを感じてもらおうと町内を探索していったところ、そこに住んでいる人たちにはまったく感じられなかった農村の原風景ともいえるつづら棚田を発見しました。そして、もつとたくさんの

人に見てもらいたいということから平成7年に始まった「棚田inうきはは彼岸花めぐり」というイベントは、今ではすっかりうきは市の秋の一大イベントとなっています。

地域の魅力の再発見が、単なる観光資源の発掘ではなく、地域住民にとつての自信と誇りになったであろうことは、その後の棚田オーナー制度の開始、つづら棚田を守る会の発足、森林セラピー事業推進の様子などからもうかがえます。

福岡都市圏から1時間圏内のアクセスを誇るうきは市では、観光客の9割近くが日帰りだとのこと。他の類似地域と異なる地域の魅力を高める取り組み、都市住民のニーズに合う地域の素材を活かす取り組みなど、課題はまだまだあるようです。

当市においても、平成26年度末の新幹線駅開業により、首都圏からのアクセスが格段によくなりませんが、それを追い風にできるような、自然豊かな当市の魅力をどんどん高め、知っていたら、大勢の皆さんに訪れたいと思っただけの飯山市でありたいと思います。

大牟田市と、森林セラピーを観光の目玉施策として取り組んでいる同うきは市を視察しました。

### ◎福岡県大牟田市 「地域認知症ケアコミュニティ推進事業について」

大牟田市は人口12万人余だが高齢化率は30%を超え、介護保険料も当市とそれほど差はなく、高齢化率が全国平均よりも10年以上進んでいる状況は当市と似ています。しかし当市と大きく異なるところは、10年前から認知症対策に取り組んできたことです。

特に地域認知症ケアコミュニティ推進事業は認知症になっても住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるまちづくりの取り組みです。具体的には、認知症ケア研究会の皆さんを中心に認知症コーディネーター養成研修・徘徊SOSネットワーク模範訓練・子ども達と学ぶ認知症絵本教室等を通して、認知症の人だけでなく障がいを抱えて生きる人達などあらゆる人々の支えにつながっています。

中でも介護の専門職を対象に2年間約300時間かけて実施

## 編集後記

昨年の大震災後、防災対策を始めた方も多いようですが、家庭での防災対策をしっかりと行っていれば、万が一の時も被害を少なくすることが出来ます。また、災害の規模が大きくなるほど行政機関の迅速な救助が困難になり、自主防災組織を中心とした自主的な初期消火・救出・救護・避難等の行動が重要となります。ちなみに私の集落では隣組同士で、災害時における「安否確認チーム」が何チームもできています。毎年新役員さんが中心となり再確認していますが、「防災隣組」をつくることは何よりの対策であり、日頃から「近助の精神」を養っていききたいものです。

特に地震災害は、時なし・場所なし・予告なしと言われます。身近な所からできる防災対策を始めましょう。(小林初子)

### 議会だより編集委員会

- 委員長 小林喜美治
- 副委員長 渋谷 芳三
- 委員 西條 豊致
- 水野 晴光
- 小林 初子
- 水野 英夫
- 久保田 幸治